

SPODフォーラム2012より
「ワールドカフェ開催の手引き」、「ワールドカフェをやろう」(香取一昭・大川恒/日本経済新聞出版社を元に再編集されたもの)

● ワールドカフェ ●

リラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルのメンバーとシャッフルして対話を続けることにより、参加された方の意見や知識を集めることができる手法

ワークショップとの違い

ワークショップは、与えられた課題やテーマに対して複数人のグループで話し合いをしたり、共同作業を行い、コミュニケーションをとりながら課題解決を行う。
参加者の学びやスキルの習得を重視しており、何かを作り上げるイメージ。

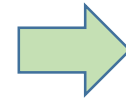
広く意見を聴き、議会や議員を身近に感じていただくことを目的とした意見交換会であれば、ワークショップよりワールドカフェが望ましいと考えられる

ワールドカフェのポイント

急いで問題を解決したり、結論を出したり、合意形成することが目的ではない

- 全員が自由に意見を出し合う
- いつもと違う雰囲気話し合う
- 多くの知識や考えを集める
- 考えや認識を深める
- 新たな気づきを得る
- 相互理解を深める
- お互いの関係性の質を高める

大切なのは



おもてなしの心

- ・リラックスしてもらいたい
- ・楽しんでもらいたい
- ・快適に話し合ってもらいたい

- ・対話を楽しむ
- ・話をよく聞く
- ・質問して広げる
- ・テーマに集中する
- ・否定しないで受け止める

ワールドカフェのエチケット

ワールドカフェの実施方法

おもてなしの心を持ち、リラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルのメンバーとシャッフルして対話を行うことがワールドカフェであり、そのほかのルールは作っていく

～ 一般的な例 ～

テーマと問いの設定



グッズの準備



会場設営

例：魅力ある長野市とするためには

- ・長野市の強みと弱みは何か？
- ・強味をどのようにPRするのか？
- ・強味を使ってどのようなまちを目指すのか？
- ・弱みを克服するためにはどうすればよいか？

- ・模造紙とペン
- ・トーキング・オブジェクト（話す人が持つグッズ）
- ・飲み物、お菓子など

- ・リラックスできる場づくり（テーブルレイアウト、ウェルカムボード、音楽、ホワイトボード、小物など）
- ・受付
- ・音響



趣旨・ワールドカフェ・エチケットの説明
テーマと問いの発表



第1ラウンド

20～30分

テーマについての探求
～問いについて話し合う



第2ラウンド

20～30分

アイデア（意見）を他のテーブルへ
～各テーブルにホストを残して他のメンバーは別の
テーブルに移動し、第1ラウンドで出した意見を共有し、
さらにテーマについて探求する



第3ラウンド

20～30分

元のテーブルに戻る
～他のテーブルで出した意見を元のテーブルで紹介して、
さらに対話を継続する



第4ラウンド

20～30分

全体で対話する
～各テーブルで出した意見、発見を全体で共有する